

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 3 年 5 月 12 日 報告者：佐藤 文明

行事種別	研究会	行事番号	210000104	
開催日	令和 3 年 4 月 3 日 (土) ~ 令和 3 年 4 月 16 日 (金)			
時間	開始	—	終了	—
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)			
テーマ	感染症と免疫検査			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	—			
講師	<p>講演 1. 「免疫血清検査の基礎」 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 伊藤 綾香</p> <p>講演 2. 「感染症に対する免疫検査を学ぼう！」 名古屋掖済会病院 岡本 明紘</p> <p>講演 3. 「新型コロナウイルス検査について」 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 シニアアドバイザー 江川 孝則</p>			
内容	<p>今回実施の研究会は「感染症と免疫検査」をテーマに、講演 1 では、「免疫血清検査の基礎」と題して、自然免疫および獲得免疫についての免疫学から、免疫血清検査の測定原理、測定法と非特異反応の特徴まで幅広く講演した。講演 2 では、「感染症に対する免疫血清検査」として、主に検査されている肝炎ウイルス、梅毒、HIV、EB ウイルスについて、感染症検査について理解を深める内容であった。また、昨今の COVID-19 感染拡大を受け、免疫血清分野としての COVID-19 関連の各種検査についても講演した。講演 3 では、「新型コロナウイルス検査について」と題し、メーカーより講演いただき、最新の知見として各種検査の測定原理から測定感度の違い、および適応範囲まで COVID-19 関連検査のトピックスを講演した。昨今、COVID-19 関連検査および試薬は各種メーカーより多数上市されており、各施設においては検査法・試薬・性能仕様の違いをしっかりと理解し、選択することが必要である。また、国内でのワクチン接種も開始しており、抗体検査についての有用性についても報告され、免疫血清分野としても注視していくべきと考える。今後も最新の知見を配信することで、各施設・会員の一助となれば幸いである。</p>			
参加者	総数：102 名 (愛臨技会員 78 名、県外会員 24 名)			
共催、後援など	なし			